

## II 集計分析報告

---

---



## Ⅱ 集計分析報告

### Ⅱ-1. 要介護リスクの傾向について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

本項目は、厚生労働省が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」における分析項目のうち、一般的な集計とは異なる方法で分析する項目の傾向分析を行ったものです。

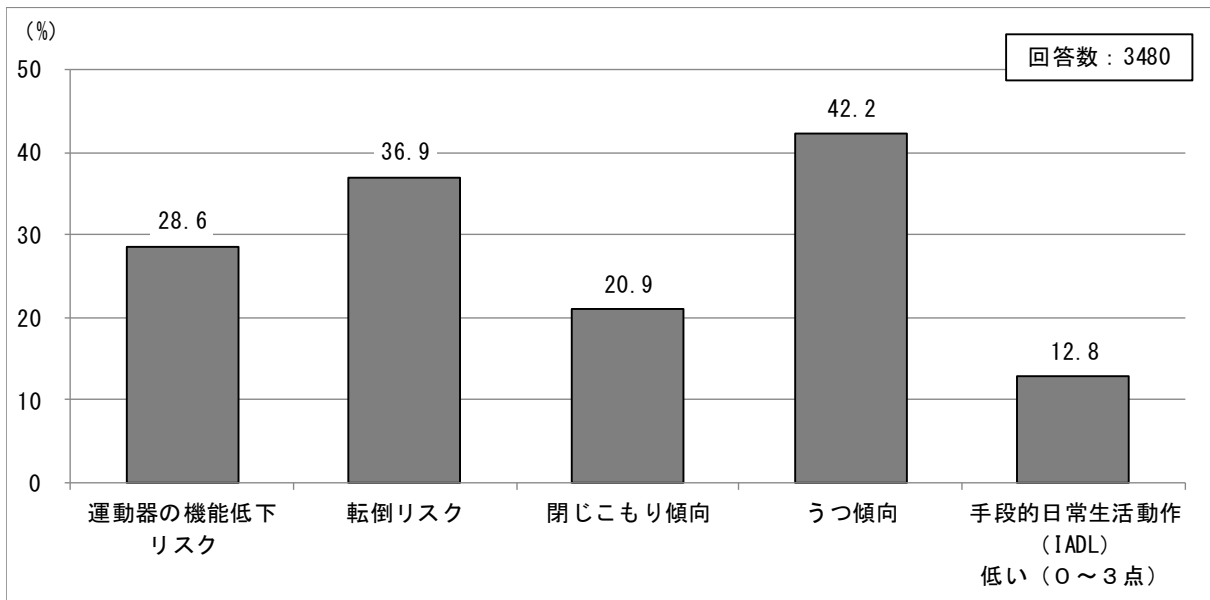
分析対象は、「一般高齢者調査」、「要支援・総合事業対象者調査」の回答者です。

#### （1）全体的な傾向について

現在の要介護状態に関わらず、今後の「運動器の機能低下リスク」、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」、「うつ傾向」、「手段的日常生活動作（IADL）で低い（0～3点）」の傾向がみられる回答者の割合は以下の通りです。

「うつ傾向」の42.2%が最も割合が高く、「転倒リスク」が36.9%となっています。

なお、最も割合が低い「手段的日常生活動作（IADL）で低い（0～3点）」でも12.8%みられ、8人中1人以上が該当しています。



#### （2）運動器の機能低下リスクについて

高齢者の運動器の機能低下のリスクについては、以下の設問において3問以上該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・総合事業対象者	
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	問3 (1)	問4 (1)	3 できない
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	(2)	(2)	3 できない
15分位続けて歩いていますか	(3)	(3)	3 できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	(4)	(4)	1 何度もある 2 1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	(5)	(5)	1 とても不安である 2 やや不安である

### <全体的な傾向>

回答者の 28.6%に運動器の機能低下のリスクがみられます。

### <年齢階層別の傾向>

年齢階層が上がるとともに該当者の割合が高くなり、「80歳～84歳」では 40.1%、「85歳以上」では 59.5%となっており、85歳以上の6割程度が該当しています。

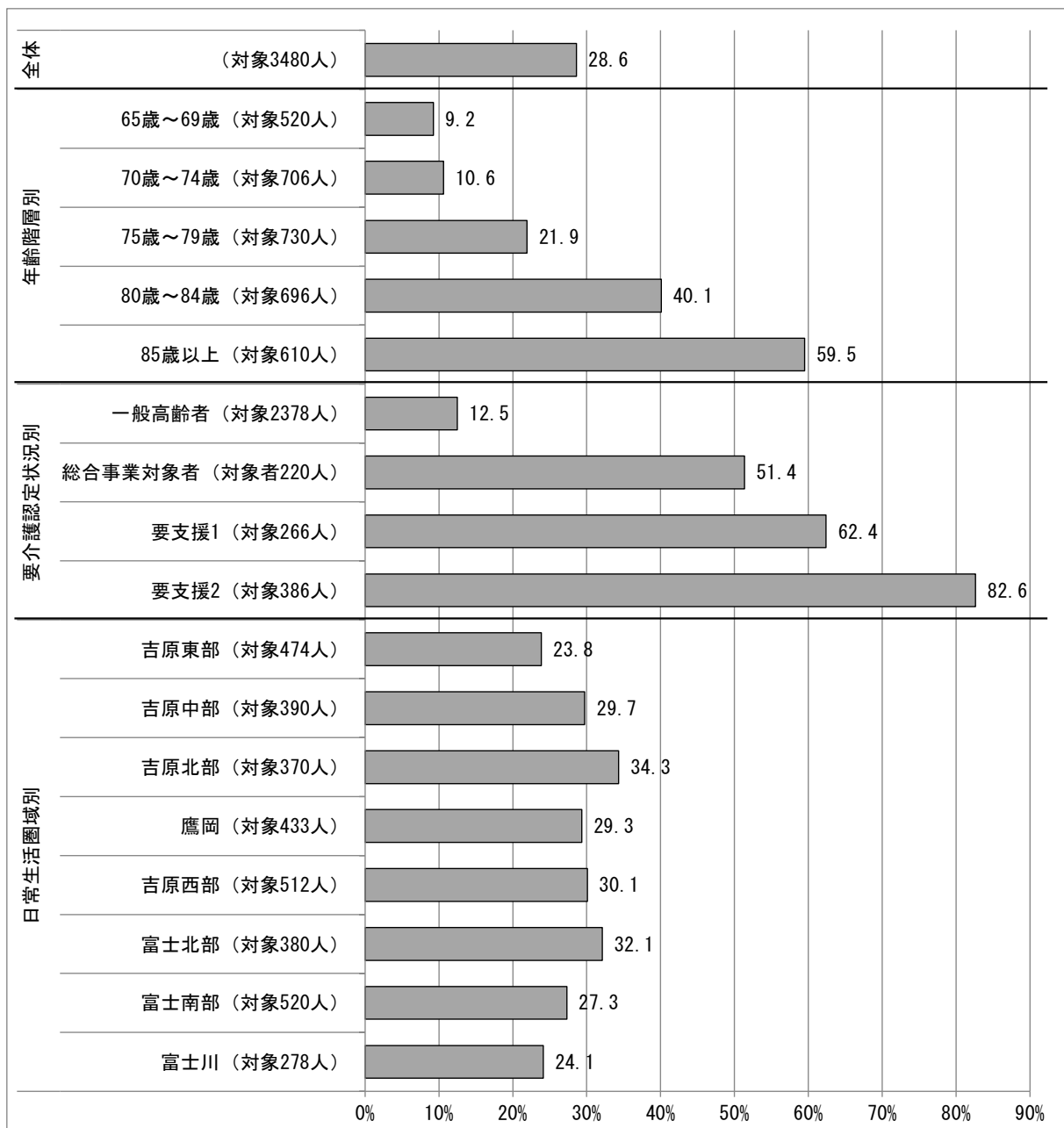
### <要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では 12.5%ですが、「総合事業対象者」では 51.4%と半数以上が該当し、「要支援1」で 62.4%、「要支援2」では 82.6%が該当しています。

### <日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原北部」で 34.3%となっており、1/3以上が該当しています。また、「吉原西部」(30.1%)、「富士北部」(32.1%)では 30%を超えています。

その一方で、最も割合が低い「吉原東部」で 23.8%となっており、最も割合が高い「吉原北部」と 10.5ポイントの差がみられます。



### (3) 転倒リスクについて

高齢者の転倒リスクについては、以下の設問に該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 総合事業対象者	
過去1年間に転んだ経験がありますか	問3(4)	問4(4)	1 何度もある 2 1度ある

#### <全体的な傾向>

回答者の36.9%に転倒リスクがみられます。

#### <年齢階層別の傾向>

年齢階層が上がるとともに該当者の割合が高くなり、「80歳～84歳」では41.8%、「85歳以上」では53.9%となっており、85歳以上の半数以上が該当しています。

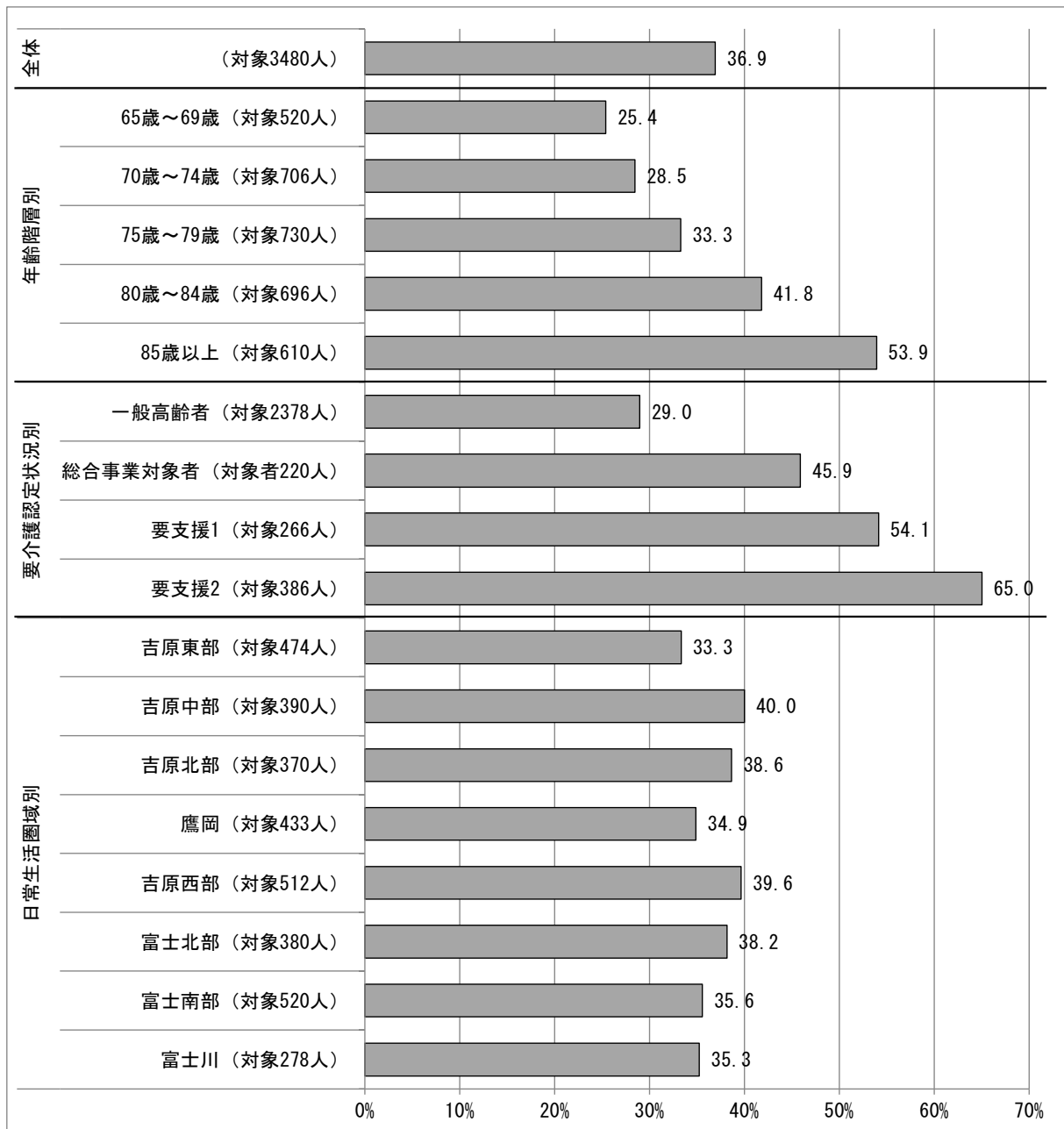
#### <要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では29.0%、「総合事業対象者」では45.9%ですが、「要支援1」で54.1%、「要支援2」では65.0%となっており、要支援認定者では半数以上が該当しています。

#### <日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原北部」で40.0%となっており、4割程度が該当しています。

なお、最も割合が低い「吉原東部」でも33.3%となっており、日常生活圏域別で大きな差はみられません。



#### (4) 閉じこもり傾向について

高齢者の閉じこもり傾向については、以下の設問に該当する回答者を「閉じこもり傾向あり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 総合事業対象者	
週に1回以上は外出していますか	問3(8)	問4(8)	1 ほとんど外出しない 2 週1回

##### <全体的な傾向>

回答者の20.9%に閉じこもり傾向がみられます。

##### <年齢階層別の傾向>

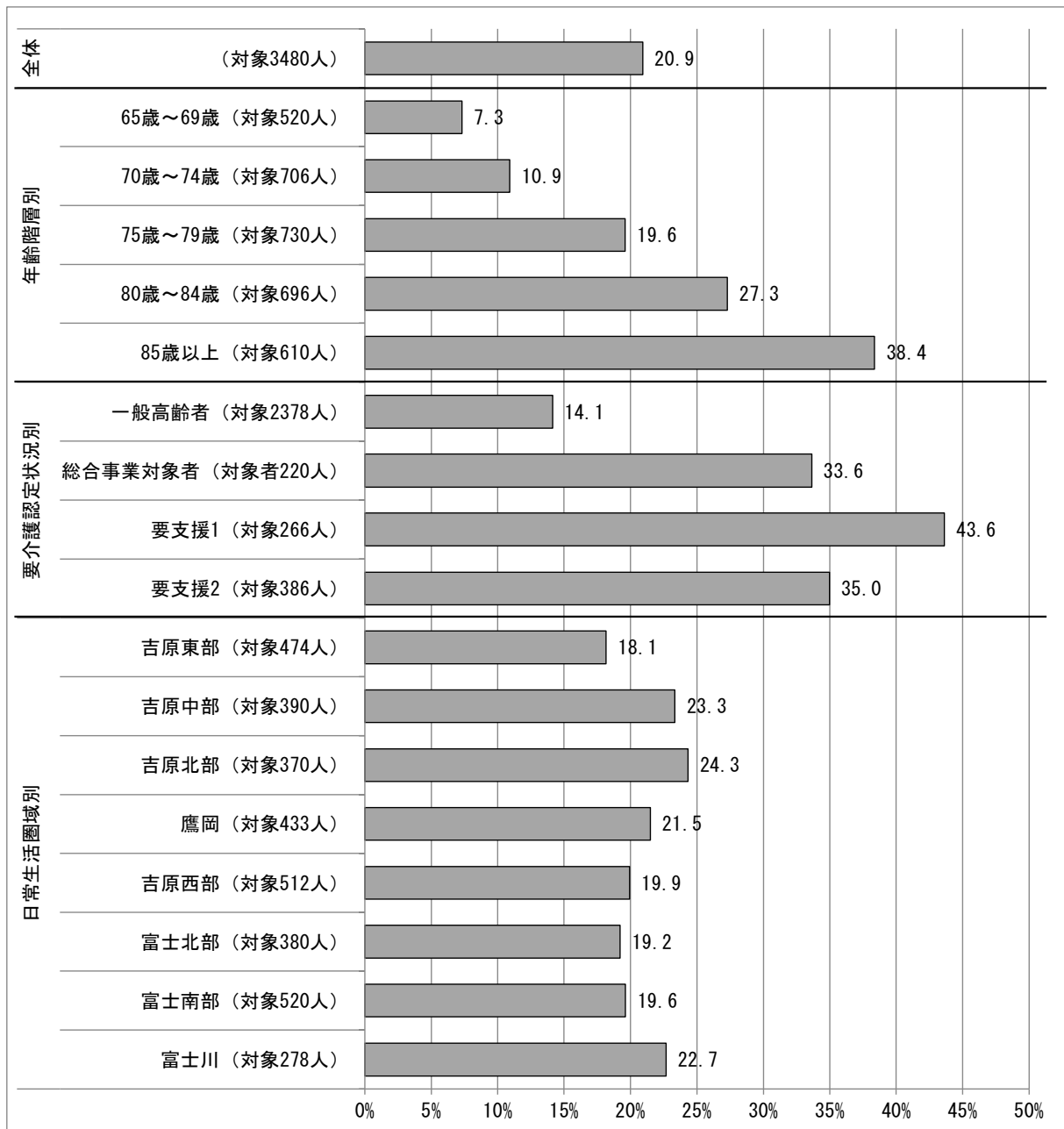
年齢階層が上がるとともに該当者の割合が高くなり、「80歳～84歳」では27.3%、「85歳以上」では38.4%となっています。

##### <要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では14.1%となっていますが、「総合事業対象者」では33.6%、「要支援1」では43.6%、「要支援2」では35.0%となっており、「要支援1」で閉じこもり傾向はやや強く出ていますが、「総合事業対象者」と「要支援2」では大きな差はみられません。

##### <日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原北部」で24.3%となっていますが、最も割合が低い「吉原東部」でも18.1%となっており、日常生活圏域別で大きな差はみられません。





### (5) うつ傾向について

高齢者のうつ傾向については、以下の設問において1問以上該当する回答者を「うつ傾向あり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 総合事業対象者	
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	問6 (3)	問7 (3)	1 はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	問6 (4)	問7 (4)	1 はい

#### <全体的な傾向>

回答者の42.2%にうつ傾向がみられます。

#### <年齢階層別の傾向>

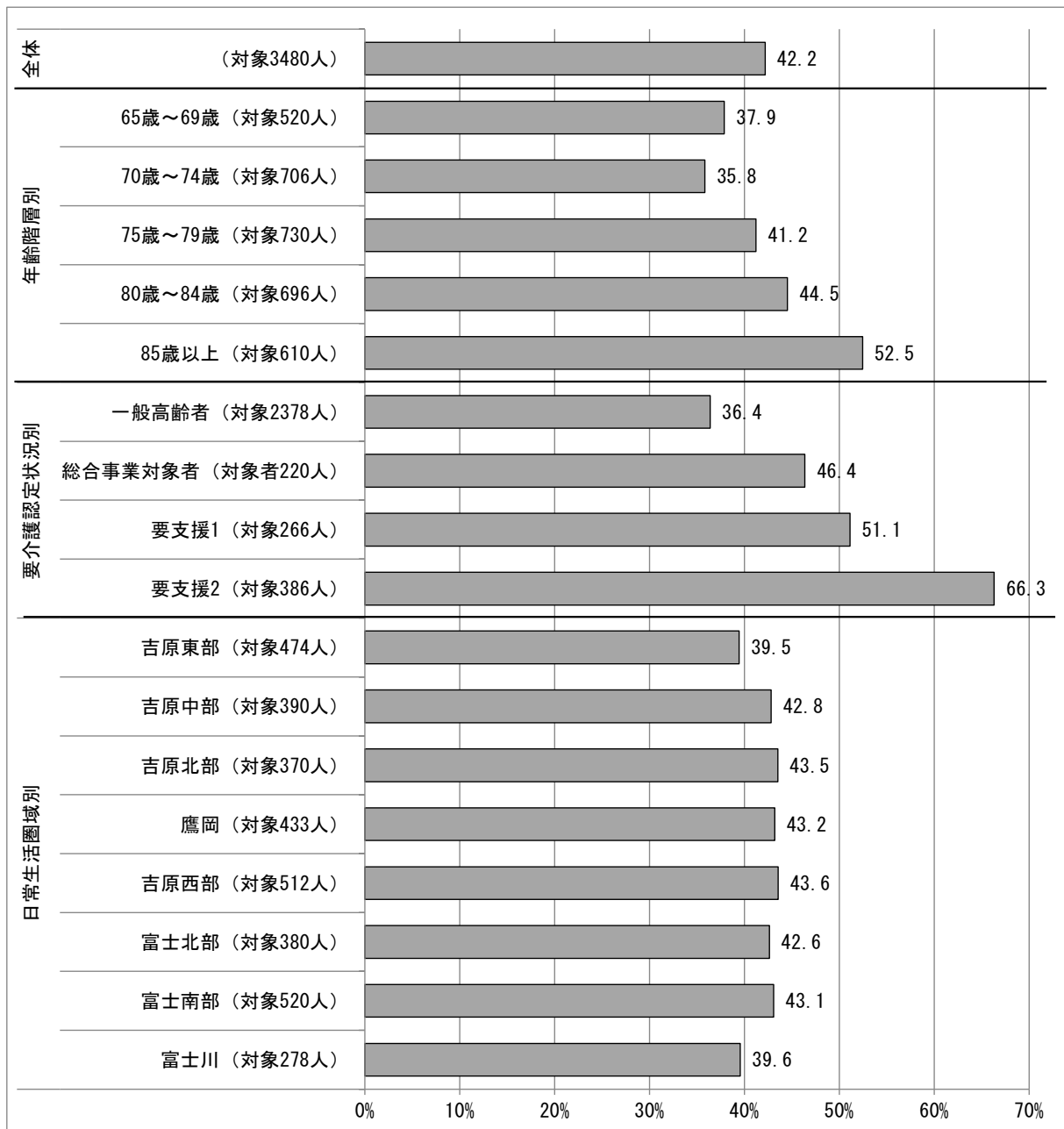
「70歳～74歳」以上の年齢階層では、年齢階層が上がるとともに該当者の割合が高くなり、「80歳～84歳」では44.5%、「85歳以上」では52.5%となっており、85歳以上の半数以上が該当しています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では36.4%となっていますが、「総合事業対象者」では46.4%、「要支援1」では51.1%、「要支援2」では66.3%となっており、要支援認定者では半数以上、特に「要支援2」では2/3程度が該当しています。

#### <日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原西部」で43.6%となっていますが、最も割合が低い「吉原東部」でも39.5%となっており、日常生活圏域別で大きな差はみられません。



## (6) 手段的日常生活動作 (IADL) について

高齢者の手段的日常生活動作 (IADL) については、以下の設問の回答の組み合わせによりリスクを3段階に分類しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 総合事業対象者	
バスや電車を使って一人で外出 していますか (自家用車でも可)	問5 (2)	問6 (2)	全設問で 「1 できるし、している」 …1点 「2 できるけどしていない」 …1点 「3 できない」……………0点 とし、その合計が 5点……………高い 4点……………やや低い 0～3点…低い なお、一つでも無記入がある 場合は「集計外」として分類
自分で食品・日用品の買い物をし ていますか	(3)	(3)	
自分で食事の用意をしていますか	(4)	(4)	
自分で請求書の支払いをしてい ますか	(5)	(5)	
自分で預貯金の出し入れをして いますか	(6)	(6)	

### <全体的な傾向>

回答者の12.8%が「低い(0～3点)」、9.6%が「やや低い(4点)」に該当しています。

### <年齢階層別の傾向>

年齢階層が上がるとともに、「低い(0～3点)」と「やや低い(4点)」の該当者の割合も上昇しています。「65歳～69歳」では「低い(0～3点)」が2.9%、「やや低い(4点)」が5.4%(合計8.3%)ですが、「85歳以上」では「低い(0～3点)」が**31.8%**、「やや低い(4点)」が**14.1%**(合計**45.9%**)となっています。

### <要介護認定状況別の傾向>

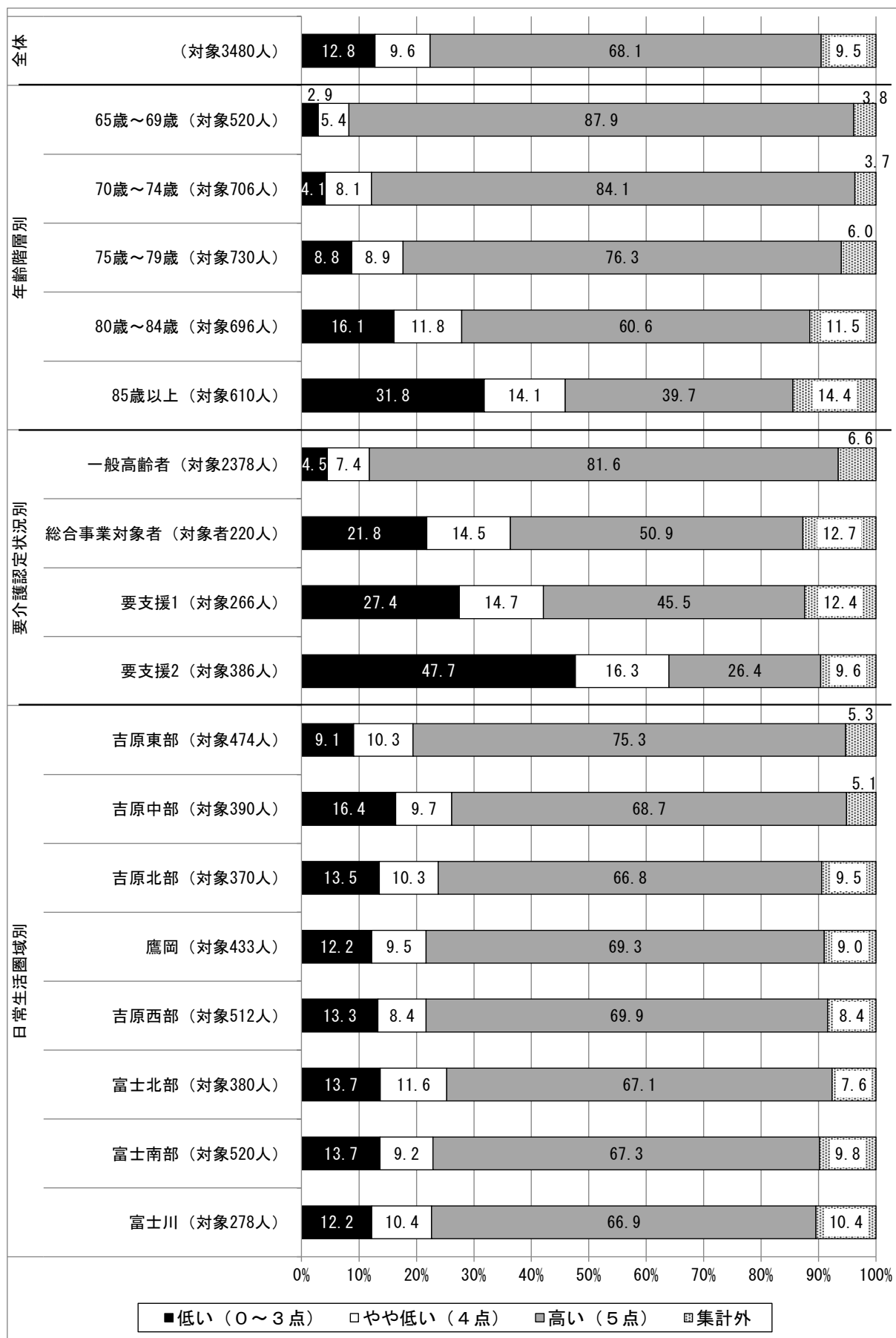
「低い(0～3点)」の該当者は、「一般高齢者」では4.5%ですが、「総合事業対象者」では21.8%、「要支援1」では27.4%、「要支援2」では47.7%となっています。

なお、「要支援2」は、「低い(0～3点)」と「やや低い(4点)」(16.3%)を合わせると64.0%となっています。

### <日常生活圏域別の傾向>

「低い(0～3点)」の該当者は、最も割合が高い「吉原中部」で**16.4%**、最も割合が低い「吉原東部」で**9.1%**となっています。

また、「やや低い(4点)」では、最も割合が高い「富士北部」で**11.6%**、最も割合が低い「吉原西部」で**8.4%**となっており、日常生活圏域別で大きな差はみられません。



## (7) 日常生活圏域別の傾向について

5項目の要介護リスクについて、日常生活圏域別の傾向は以下の通りです。(市全体=1との比較)

吉原東部では、5項目とも市全体を下回り、要介護リスクのある高齢者が少ない地域といえます。

吉原中部では、5項目とも市全体を上回っています。特に「手段的日常生活動作 (IADL) が低い」の割合が高く、市全体を28%上回っています。

吉原北部では、5項目とも市全体を上回っています。特に「運動器の機能低下リスク」の割合が高く、市全体を20%上回っています。

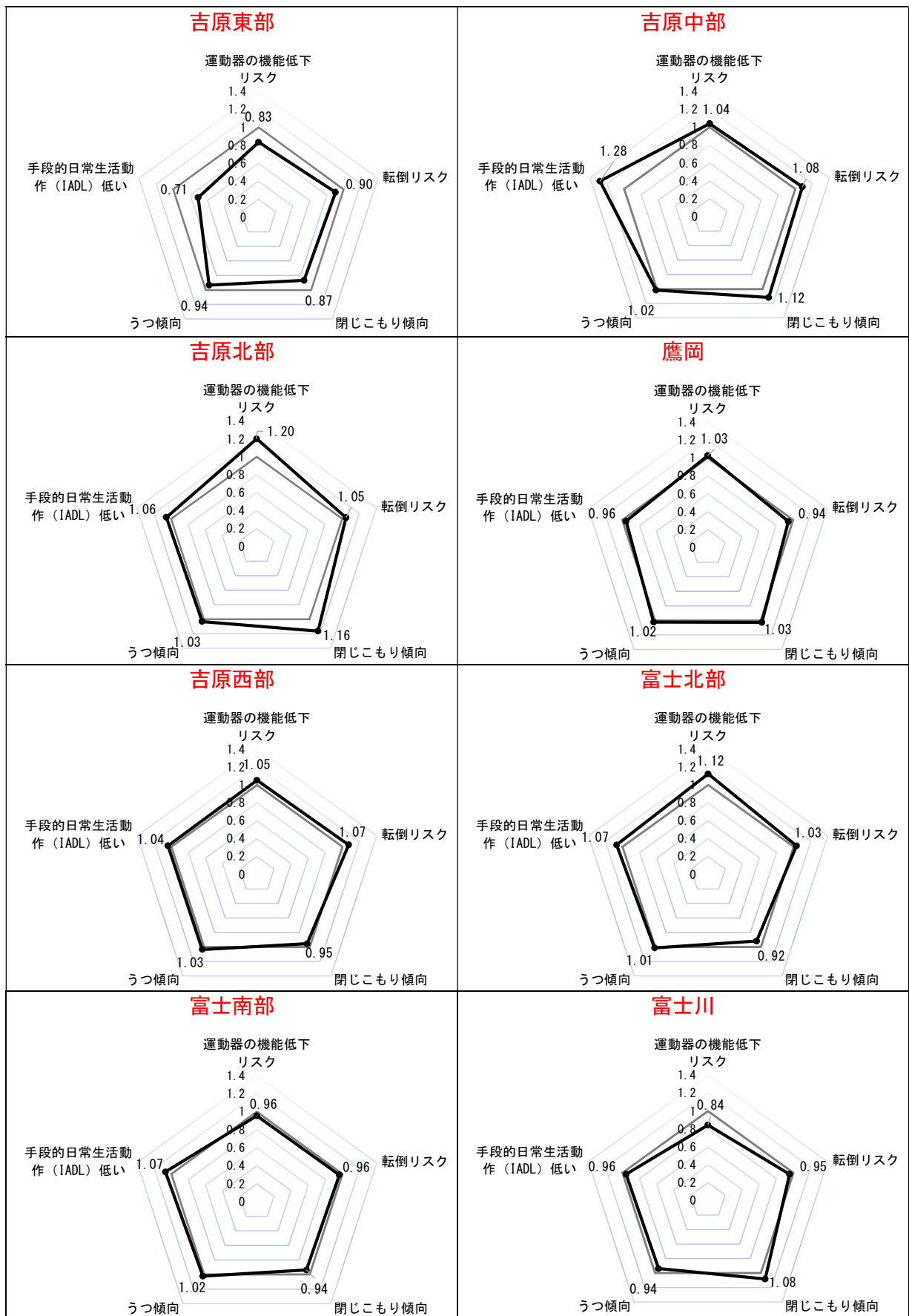
鷹岡では、「転倒リスク」と「手段的日常生活動作 (IADL) が低い」が市全体を下回り、その他の3項目では市全体を上回っています。このうち、「転倒リスク」では市全体を6%下回っていますが、市全体を上回っている3項目では2~3%程度の差となっています。

吉原西部は、「閉じこもり傾向」が市全体を下回り、その他の4項目では市全体を上回っています。しかし、その差は3~5%であり、少差といえます。

富士北部は、「閉じこもり傾向」が市全体を下回り、その他の4項目では市全体を上回っています。このうち、「運動器の機能低下リスク」の割合は高く、市全体を12%上回っています。

富士南部では、「うつ傾向」と「手段的日常生活動作 (IADL) が低い」が市全体を上回り、その他の3項目では市全体を下回っています。このうち、「手段的日常生活動作 (IADL) が低い」では市全体を7%上回っています。

富士川では、「閉じこもり傾向」が市全体を上回り、その他の4項目では市全体を下回っています。このうち、「運動器の機能低下リスク」では市全体を16%下回っています。その一方で、「閉じこもり傾向」では市全体を8%上回っています。



## II-2. 高齢者の生活状況等について（3調査合算）

### （1）居宅の状況

#### ＜全体的な傾向＞

居宅の種類は、全体的には「一戸建ての持ち家」が86.8%となっています。また、「民間賃貸住宅」、「公営賃貸住宅」、「借間」を合わせた「賃貸・貸間」の居住者は6.7%みられます。

#### ＜日常生活圏域別の傾向＞

各圏域とも、「一戸建ての持ち家」の割合が最も高くなっています。このうち、「吉原東部」、「吉原北部」、「鷹岡」、「富士川」の4圏域では90%を超えています。また、「吉原中部」、「吉原西部」、「富士北部」、「富士南部」の4圏域では80%台となっています。

#### ＜要介護認定状況別の傾向＞

各区分とも、「一戸建ての持ち家」の割合が最も高くなっています。

なお、「賃貸・貸間」の居住者は、要支援・要介護の認定を受けた高齢者でも一定数みられ、「要支援2」、「要介護1」、「要介護4」で8%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	居宅の種類							賃貸・貸間	
		一戸建ての持ち家	集合住宅の持ち家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅	借間	その他	無回答		
全体	4470 100.0	3882 86.8	77 1.7	196 4.4	77 1.7	25 0.6	36 0.8	177 4.0	298 6.7	
日常生活圏域別	吉原東部	556 100.0	508 91.4	13 2.3	28 5.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	3 0.5	30 5.4
	吉原中部	495 100.0	444 89.7	1 0.2	13 2.6	23 4.6	6 1.2	4 0.8	4 0.8	42 8.5
	吉原北部	501 100.0	456 91.0	5 1.0	9 1.8	16 3.2	1 0.2	7 1.4	7 1.4	26 5.2
	鷹岡	544 100.0	502 92.3	1 0.2	18 3.3	5 0.9	3 0.6	6 1.1	9 1.7	26 4.8
	吉原西部	670 100.0	569 84.9	25 3.7	40 6.0	7 1.0	9 1.3	5 0.7	15 2.2	56 8.4
	富士北部	497 100.0	424 85.3	11 2.2	42 8.5	4 0.8	0 0.0	5 1.0	11 2.2	46 9.3
	富士南部	661 100.0	579 87.6	16 2.4	34 5.1	14 2.1	3 0.5	6 0.9	9 1.4	51 7.7
	富士川	348 100.0	332 95.4	4 1.1	6 1.7	1 0.3	0 0.0	1 0.3	4 1.1	7 2.0
	要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	2122 89.2	40 1.7	112 4.7	32 1.3	6 0.3	6 0.3	60 2.5
総合事業対象者		220 100.0	185 84.1	7 3.2	12 5.5	8 3.6	0 0.0	1 0.5	7 3.2	20 9.1
要支援1		266 100.0	226 85.0	9 3.4	12 4.5	3 1.1	3 1.1	7 2.6	6 2.3	18 6.8
要支援2		386 100.0	340 88.1	5 1.3	19 4.9	8 2.1	5 1.3	2 0.5	7 1.8	32 8.3
要介護1		270 100.0	233 86.3	6 2.2	16 5.9	5 1.9	2 0.7	6 2.2	2 0.7	23 8.5
要介護2		304 100.0	281 92.4	2 0.7	7 2.3	5 1.6	2 0.7	4 1.3	3 1.0	14 4.6
要介護3		158 100.0	146 92.4	1 0.6	4 2.5	1 0.6	1 0.6	3 1.9	2 1.3	6 3.8
要介護4		99 100.0	87 87.9	2 2.0	3 3.0	2 2.0	3 3.0	1 1.0	1 1.0	8 8.1
要介護5		57 100.0	50 87.7	1 1.8	1 1.8	1 1.8	0 0.0	2 3.5	2 3.5	2 3.5

### （2）世帯の状況

①一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者

<全体的な傾向>

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.5%で最も割合が高く、次いで「息子・娘との2世帯」が28.5%、「1人暮らし」が15.9%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「75歳～79歳」以下では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「80歳～84歳」以上では「息子・娘との2世帯」の割合が最も高くなっています。

また、「1人暮らし」は「65歳～69歳」と「70歳～74歳」(前期高齢者)では10～11%台ですが、「75歳～79歳」で16.3%に上昇し、「80歳～84歳」以上では20%前後となっています。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「総合事業対象者」と「要支援2」では「息子・娘との2世帯」、「要支援1」では「1人暮らし」の割合が最も高くなっています。なお、「総合事業対象者」、「要支援1」、「要支援2」では「1人暮らし」が25%を超えており、回答者の1/4が「1人暮らし高齢者」となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	家族構成						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体	3480 100.0	552 15.9	1025 29.5	103 3.0	991 28.5	450 12.9	359 10.3	
年齢階層別	64歳以下	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	65歳～69歳	520 100.0	60 11.5	158 30.4	51 9.8	124 23.8	89 17.1	38 7.3
	70歳～74歳	706 100.0	75 10.6	271 38.4	24 3.4	184 26.1	100 14.2	52 7.4
	75歳～79歳	730 100.0	119 16.3	258 35.3	14 1.9	209 28.6	74 10.1	56 7.7
	80歳～84歳	696 100.0	137 19.7	184 26.4	7 1.0	216 31.0	70 10.1	82 11.8
	85歳以上	610 100.0	126 20.7	85 13.9	5 0.8	218 35.7	98 16.1	78 12.8
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	267 11.2	803 33.8	95 4.0	681 28.6	308 13.0	224 9.4
	総合事業対象者	220 100.0	60 27.3	36 16.4	1 0.5	71 32.3	31 14.1	21 9.5
	要支援1	266 100.0	76 28.6	64 24.1	1 0.4	74 27.8	32 12.0	19 7.1
	要支援2	386 100.0	100 25.9	78 20.2	3 0.8	120 31.1	59 15.3	26 6.7



## ②要介護認定者

### <全体的な傾向>

世帯類型について、「その他」が 57.2%で最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 18.3%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 11.1%となっています。

### <年齢階層別の傾向>

各年齢階層とも「その他」の割合が最も高くなっています。

また、「単身世帯（ひとり暮らし）」は「75歳～79歳」を除く高齢者の各年齢層で10%以上となっています。

さらに、「夫婦のみの世帯」は「70歳～74歳」、「75歳～79歳」で30%を超えています。

### <要介護認定状況別の傾向>

各要介護度とも「その他」の割合が最も高くなっています。

また、「単身世帯（ひとり暮らし）」は「要介護1」で19.3%、「要介護2」で10.2%となっていますが、「要介護3」以上では10%以下となっています。

さらに、「夫婦のみの世帯」は「要介護1」と「要介護2」で10%台、「要介護3」以上で20%台となっています。特に「要介護4」では26.3%となっており、回答者の1/4が「夫婦のみの世帯」となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	世帯累計				
		単身世帯 (ひとり暮らし)	夫婦のみ世帯	その他	無回答	
全体	990 100.0	110 11.1	181 18.3	566 57.2	133 13.4	
年齢階層別	64歳以下	6 100.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0
	65～69歳	14 100.0	2 14.3	3 21.4	9 64.3	0 0.0
	70～74歳	68 100.0	10 14.7	22 32.4	32 47.1	4 5.9
	75～79歳	150 100.0	13 8.7	48 32.0	75 50.0	14 9.3
	80～84歳	216 100.0	23 10.6	43 19.9	130 60.2	20 9.3
	85歳以上	460 100.0	58 12.6	61 13.3	299 65.0	42 9.1
	要介護認定状況別	要介護1	270 100.0	52 19.3	39 14.4	162 60.0
要介護2		304 100.0	31 10.2	57 18.8	193 63.5	23 7.6
要介護3		158 100.0	10 6.3	33 20.9	100 63.3	15 9.5
要介護4		99 100.0	5 5.1	26 26.3	56 56.6	12 12.1
要介護5		57 100.0	5 8.8	14 24.6	31 54.4	7 12.3

### (3) 経済的な困窮状況

#### <全体的な傾向>

経済的な困窮の状況は、「ふつう」が 58.6%で最も割合が高く、次いで「やや苦しい」が 23.6%、「大変苦しい」が 7.9%となっています。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると 31.5%となり、回答者の 30%以上が苦しさを感じているとみられます。

#### <居宅の種類別の傾向>

「その他」を除く各区分で、「ふつう」の割合が最も高くなっています。

また、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計をみると、「一戸建ての持ち家」と「集合住宅の持ち家」では半数以下ですが、「民間賃貸住宅」、「公営賃貸住宅」、「借間」では 60%を超えています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

各区分とも、「ふつう」の割合が最も高くなっています。

また、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計をみると、「総合事業対象者」と「要介護 1」は 20%台、「一般高齢者」、「要支援 1」、「要支援 2」、「要介護 2」では 30%台、「要介護 3」以上では 40%台となっており、要介護 3 以上で経済的な苦しさを感じている人が多いとみられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	現在の暮らしの経済的状況						大変苦しい+やや苦しい	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答		
全体	4470 100.0	354 7.9	1053 23.6	2620 58.6	222 5.0	41 0.9	180 4.0	1407 31.5	
居宅の種類別	一戸建ての持ち家	3882 100.0	248 6.4	871 22.4	2426 62.5	212 5.5	39 1.0	86 2.2	1119 28.8
	集合住宅の持ち家	77 100.0	9 11.7	22 28.6	42 54.5	2 2.6	0 0.0	2 2.6	31 40.3
	民間賃貸住宅	196 100.0	50 25.5	76 38.8	61 31.1	4 2.0	0 0.0	5 2.6	126 64.3
	公営賃貸住宅	77 100.0	20 26.0	33 42.9	22 28.6	1 1.3	0 0.0	1 1.3	53 68.8
	借間	25 100.0	8 32.0	8 32.0	9 36.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 64.0
	その他	36 100.0	5 13.9	15 41.7	13 36.1	2 5.6	1 2.8	0 0.0	20 55.6
	要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	161 6.8	563 23.7	1421 59.8	149 6.3	20 0.8	64 2.7
総合事業対象者		220 100.0	8 3.6	46 20.9	153 69.5	12 5.5	0 0.0	1 0.5	54 24.5
要支援 1		266 100.0	30 11.3	54 20.3	160 60.2	14 5.3	5 1.9	3 1.1	84 31.6
要支援 2		386 100.0	40 10.4	104 26.9	222 57.5	17 4.4	3 0.8	0 0.0	144 37.3
要介護 1		270 100.0	19 7.0	53 19.6	183 67.8	10 3.7	5 1.9	0 0.0	72 26.7
要介護 2		304 100.0	28 9.2	78 25.7	177 58.2	12 3.9	2 0.7	7 2.3	106 34.9
要介護 3		158 100.0	19 12.0	48 30.4	87 55.1	2 1.3	1 0.6	1 0.6	67 42.4
要介護 4		99 100.0	11 11.1	34 34.3	51 51.5	2 2.0	1 1.0	0 0.0	45 45.5
要介護 5		57 100.0	6 10.5	19 33.3	31 54.4	0 0.0	0 0.0	1 1.8	25 43.9

#### (4) 困窮の理由

※経済的な困窮状況で「大変苦しい」+「やや苦しい」の回答者（1407人）のみ集計

##### <全体的な傾向>

経済的な困窮の理由は、「年金などの収入が少ない」が80.8%と最も割合が高く、次いで「医療・介護にかかる出費が多い」が30.4%、「食費・光熱費・家賃にかかる出費が多い」が18.9%となっています。

##### <居宅の種類別の傾向>

各区分とも、「年金などの収入が少ない」の割合が最も高くなっています。

このうち、「民間賃貸住宅」では「食費・光熱費・家賃にかかる出費が多い」が48.4%となっており、比較的高い割合となっています。

##### <要介護認定状況別の傾向>

「要介護4」を除く各区分で「年金などの収入が少ない」の割合が最も高くなっています。なお、「要介護4」と「要介護5」では、「年金などの収入が少ない」と「医療・介護にかかる出費が多い」ほぼ同率または同率となっています。

このうち、「医療・介護にかかる出費が多い」要介護度の進行とともに割合が高くなり、「総合事業対象者」から「要支援2」では30%台、「要介護1」と「要介護2」では40%台、「要介護3」以上では60%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	経済的に苦しい理由								
		年金などの収入が少ない	家族・親族からの支援が少ない	医療・介護にかかる出費が多い	家族や親族に支援している	食費・光熱費・家賃にかかる出費が多い	その他	無回答	非該当	
全体	1407 100.0	1137 80.8	85 6.0	428 30.4	60 4.3	266 18.9	66 4.7	32 2.3	3063	
居宅の種類別	一戸建ての持ち家	1119 100.0	910 81.3	68 6.1	350 31.3	55 4.9	160 14.3	55 4.9	28 2.5	2763
	集合住宅の持ち家	31 100.0	26 83.9	0 0.0	10 32.3	1 3.2	7 22.6	0 0.0	1 3.2	46
	民間賃貸住宅	126 100.0	96 76.2	12 9.5	28 22.2	2 1.6	61 48.4	2 1.6	2 1.6	70
	公営賃貸住宅	53 100.0	49 92.5	2 3.8	18 34.0	0 0.0	10 18.9	2 3.8	0 0.0	24
	借間	16 100.0	14 87.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3	6 37.5	2 12.5	0 0.0	9
	その他	20 100.0	11 55.0	0 0.0	9 45.0	1 5.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0	16
	要介護認定状況別	一般高齢者	724 100.0	624 86.2	43 5.9	138 19.1	39 5.4	142 19.6	32 4.4	11 1.5
総合事業対象者	54 100.0	43 79.6	2 3.7	19 35.2	0 0.0	10 18.5	4 7.4	1 1.9	166	
要支援1	84 100.0	65 77.4	4 4.8	31 36.9	2 2.4	20 23.8	5 6.0	3 3.6	182	
要支援2	144 100.0	113 78.5	11 7.6	56 38.9	6 4.2	26 18.1	7 4.9	7 4.9	242	
要介護1	72 100.0	57 79.2	4 5.6	31 43.1	2 2.8	9 12.5	4 5.6	2 2.8	198	
要介護2	106 100.0	82 77.4	7 6.6	50 47.2	4 3.8	13 12.3	4 3.8	2 1.9	198	
要介護3	67 100.0	45 67.2	5 7.5	41 61.2	2 3.0	14 20.9	2 3.0	0 0.0	91	
要介護4	45 100.0	27 60.0	4 8.9	28 62.2	2 4.4	8 17.8	1 2.2	1 2.2	54	
要介護5	25 100.0	16 64.0	1 4.0	16 64.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	32	

(5) 外出時の移動手段（要介護認定者は「外出できる方」のみ集計）

<全体的な傾向>

外出時の移動手段は、「自動車(人に乗せてもらう)」が 48.4%で最も割合が高く、次いで「徒歩」が 43.4%、「自動車(自分で運転)」が 37.1%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「70歳～74歳」以下では「自動車(自分で運転)」、「75歳～79歳」では「徒歩」、「80歳～84歳」以上では「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が最も高くなっています。

なお、「自動車(自分で運転)」の割合は、65歳以上の高齢者では年齢層の上昇とともに割合が低下していますが、「80歳～84歳」で 23.1%、「85歳以上」で 7.3%と一定数の回答がみられます。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では「自動車(自分で運転)」、「総合事業対象者」、「要支援1」以上の認定者では「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が最も高くなっています。

なお、「自動車(自分で運転)」の割合は、要介護度の進行とともに低下し、「要支援2」以上では10%を下回り、「要介護4」以上では0%となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	外出時の移動手段											非該当	
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せても らう)	電車	路線バ ス	病院や 施設の バス	タクシ ー	その他	無回答		
全体	4135 100.0	1795 43.4	455 11.0	119 2.9	1533 37.1	2003 48.4	228 5.5	348 8.4	287 6.9	709 17.1	46 1.1	119 2.9		
年齢階層別	64歳以下	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
	65歳～69歳	530 100.0	248 46.8	83 15.7	19 3.6	379 71.5	160 30.2	35 6.6	19 3.6	6 1.1	24 4.5	1 0.2	9 1.7	
	70歳～74歳	748 100.0	363 48.5	102 13.6	34 4.5	469 62.7	235 31.4	57 7.6	50 6.7	20 2.7	54 7.2	3 0.4	11 1.5	
	75歳～79歳	830 100.0	414 49.9	107 12.9	40 4.8	347 41.8	372 44.8	47 5.7	78 9.4	46 5.5	114 13.7	13 1.6	12 1.4	
	80歳～84歳	856 100.0	381 44.5	99 11.6	20 2.3	198 23.1	457 53.4	51 6.0	105 12.3	59 6.9	221 25.8	11 1.3	26 3.0	
	85歳以上	930 100.0	304 32.7	42 4.5	2 0.2	68 7.3	673 72.4	30 3.2	85 9.1	139 14.9	255 27.4	14 1.5	21 2.3	
	要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	1233 51.9	387 16.3	107 4.5	1383 58.2	785 33.0	171 7.2	188 7.9	23 1.0	237 10.0	16 0.7	56 2.4
総合事業対象者		220 100.0	115 52.3	22 10.0	2 0.9	36 16.4	142 64.5	18 8.2	43 19.5	29 13.2	62 28.2	2 0.9	1 0.5	
要支援1		266 100.0	107 40.2	8 3.0	5 1.9	41 15.4	152 57.1	14 5.3	39 14.7	35 13.2	98 36.8	2 0.8	2 0.8	
要支援2		386 100.0	107 27.7	15 3.9	1 0.3	28 7.3	293 75.9	7 1.8	34 8.8	71 18.4	140 36.3	12 3.1	6 1.6	
要介護1		222 100.0	88 39.6	6 2.7	0 0.0	3 1.4	179 80.6	3 1.4	4 1.8	24 10.8	29 13.1	3 1.4	2 0.9	48
要介護2		221 100.0	57 25.8	3 1.4	1 0.5	5 2.3	171 77.4	0 0.0	9 4.1	44 19.9	46 20.8	0 0.0	2 0.9	83
要介護3		102 100.0	8 7.8	1 1.0	0 0.0	2 2.0	89 87.3	2 2.0	2 2.0	18 17.6	11 10.8	4 3.9	2 2.0	56
要介護4		51 100.0	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 82.4	0 0.0	1 2.0	12 23.5	10 19.6	2 3.9	2 3.9	48
要介護5		18 100.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 66.7	1 5.6	0 0.0	6 33.3	2 11.1	3 16.7	0 0.0	39

## (6) 食事の状況

### ①一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者

#### <全体的な傾向>

誰かと食事をする機会について、「毎日ある」が 54.8%と最も割合が高く、次いで「月に何度かある」が 13.5%、「ほとんどない」が 9.7%となっています。

#### <家族構成別の傾向>

「1人暮らし」では「月に何度かある」、その他の家族構成では「毎日ある」が最も高い割合となっています。

なお、「ほとんどない」をみると、「1人暮らし」では 24.1%みられるほか、その他の家族構成でも 5～6%台の回答がみられ、同居する家族がいても、1人で食事をする高齢者が一定数いるとみられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	誰かと食事をする機会						
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体	4470 100.0	2451 54.8	330 7.4	602 13.5	387 8.7	432 9.7	268 6.0	
家族構成別	1人暮らし	552 100.0	29 5.3	89 16.1	183 33.2	100 18.1	133 24.1	18 3.3
	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)	1025 100.0	630 61.5	49 4.8	140 13.7	100 9.8	67 6.5	39 3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)	103 100.0	66 64.1	7 6.8	12 11.7	10 9.7	6 5.8	2 1.9
	息子・娘との2世帯	991 100.0	619 62.5	62 6.3	122 12.3	78 7.9	67 6.8	43 4.3
	その他	450 100.0	279 62.0	25 5.6	54 12.0	47 10.4	23 5.1	22 4.9

### ②要介護認定者

#### <全体的な傾向>

誰かと食事をする機会について、「毎日ある」が 66.2%と最も割合が高く、次いで「ほとんどない」が 10.4%、「週に何度かある」が 7.5%となっています。

#### <世帯累計別の傾向>

「単身世帯(ひとり暮らし)」では「ほとんどない」、「夫婦のみ世帯」と「その他」では「毎日ある」が最も高い割合となっています。

なお、「ほとんどない」をみると、「単身世帯(ひとり暮らし)」では 30.9%みられるほか、「夫婦のみ世帯」で 9.4%、「その他」で 6.7%となっており、同居する家族がいても、1人で食事をする高齢者が一定数いるとみられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	誰かと食事をする機会						
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体	990 100.0	655 66.2	74 7.5	45 4.5	21 2.1	103 10.4	92 9.3	
世帯類型別	単身世帯 (ひとり暮らし)	110 100.0	26 23.6	25 22.7	15 13.6	7 6.4	34 30.9	3 2.7
	夫婦のみ世帯	181 100.0	134 74.0	9 5.0	8 4.4	6 3.3	17 9.4	7 3.9
	その他	566 100.0	445 78.6	34 6.0	19 3.4	5 0.9	38 6.7	25 4.4

## Ⅱ-3. 健康状態について

### (1) 低体重・肥満の状況（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

#### <全体的な傾向>

記入していただいた身長、体重から算出した BMI（[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]）は、「低体重」（BMI：18.5未満）が9.0%、「普通体重」（BMI：18.5以上25未満）が62.4%、「肥満」（BMI：25以上）が19.6%となっています。

#### <男女別の傾向>

「女性」は「低体重」が11.3%、「肥満」が18.3%となっており、「男性」と比較して「低体重」の割合が高く、「肥満」の割合が低くなっています。

#### <年齢階層別の傾向>

「65歳～69歳」の各年齢層において、「普通体重」が50～60%台となっています。

なお、「低体重」は年齢層が上がるとともに該当者の割合が高くなり、「80歳～84歳」では9.5%、「85歳以上」では14.4%となっています。

上段：回答者数、下段：割合

		合計	BMI 値			無回答
			低体重	普通体重	肥満	
全体		3480 100.0	313 9.0	2170 62.4	683 19.6	314 9.0
男女別	男性	1337 100.0	75 5.6	884 66.1	299 22.4	79 5.9
	女性	2058 100.0	232 11.3	1261 61.3	376 18.3	189 9.2
年齢階層別	64歳以下	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0
	65歳～69歳	520 100.0	35 6.7	337 64.8	126 24.2	22 4.2
	70歳～74歳	706 100.0	50 7.1	470 66.6	159 22.5	27 3.8
	75歳～79歳	730 100.0	55 7.5	486 66.6	153 21.0	36 4.9
	80歳～84歳	696 100.0	66 9.5	439 63.1	134 19.3	57 8.2
	85歳以上	610 100.0	88 14.4	339 55.6	78 12.8	105 17.2

(2) 健康状態について (3 調査合算)

<全体的な傾向>

現在の健康状態について、「まあよい」が 57.1%で最も割合が高く、次いで「あまりよくない」が 24.0%、「とてもよい」が 6.6%となっています。

<年齢階層別の傾向>

各年齢階層とも、「まあよい」の割合が最も高くなっています。

また、「とてもよい」は、「65歳～69歳」で 10.7%みられますが、年齢が上がるとともに割合は低下し、「85歳以上」では 3.9%となっています。

<要介護認定状況別の傾向>

「要支援2」では「あまりよくない」、その他の区分では「まあよい」の割合が最も高くなっています。

また、「とてもよい」は、「一般高齢者」で 10.2%みられますが、その他の区分では5%以下となっており、「要介護4」と「要介護5」では0%となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	現在の健康状態					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	4470 100.0	294 6.6	2552 57.1	1073 24.0	235 5.3	316 7.1	
年齢階層別	64歳以下	11 100.0	1 9.1	5 45.5	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	65歳～69歳	534 100.0	57 10.7	363 68.0	84 15.7	17 3.2	13 2.4
	70歳～74歳	774 100.0	73 9.4	506 65.4	142 18.3	29 3.7	24 3.1
	75歳～79歳	880 100.0	55 6.3	526 59.8	217 24.7	50 5.7	32 3.6
	80歳～84歳	912 100.0	52 5.7	474 52.0	265 29.1	63 6.9	58 6.4
	85歳以上	1070 100.0	42 3.9	577 53.9	308 28.8	58 5.4	85 7.9
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	243 10.2	1584 66.6	411 17.3	62 2.6	78 3.3
	総合事業対象者	220 100.0	10 4.5	121 55.0	62 28.2	16 7.3	11 5.0
	要支援1	266 100.0	5 1.9	141 53.0	92 34.6	17 6.4	11 4.1
	要支援2	386 100.0	3 0.8	142 36.8	180 46.6	50 13.0	11 2.8
	要介護1	270 100.0	9 3.3	154 57.0	65 24.1	16 5.9	26 9.6
	要介護2	304 100.0	11 3.6	156 51.3	80 26.3	15 4.9	42 13.8
	要介護3	158 100.0	5 3.2	82 51.9	45 28.5	11 7.0	15 9.5
	要介護4	99 100.0	0 0.0	41 41.4	35 35.4	15 15.2	8 8.1
	要介護5	57 100.0	0 0.0	23 40.4	15 26.3	13 22.8	6 10.5



## Ⅱ-4. 介護予防活動の状況について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

### （1）介護予防の取り組みの有無について

#### ＜全体的な傾向＞

介護予防の取り組みの有無について、「ある」が50.0%、「ない」が42.2%となっており、回答者の半数が介護予防に取り組んでいるとみられます。

#### ＜年齢階層別の傾向＞

「70歳～74歳」以下では「ない」、「75歳～79歳」では「ある」の割合が高くなっています。また、「ある」は65歳以上の高齢者では年齢が高くなるとともに割合が高くなっています。

#### ＜経済状況別の傾向＞

「大変苦しい」では「ない」、その他の区分では「ある」の割合が高くなっています。また、経済的状況が良好な回答者ほど、「ある」の割合が高くなっています。

#### ＜要介護認定状況別の傾向＞

「一般高齢者」では「ない」、「総合事業対象者」、「要支援1」、「要支援2」では「ある」の割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護予防の取り組みの有無			
		ある	ない	無回答	
全体	3480 100.0	1739 50.0	1470 42.2	271 7.8	
年齢階層別	64歳以下	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
	65歳～69歳	520 100.0	189 36.3	304 58.5	27 5.2
	70歳～74歳	706 100.0	328 46.5	343 48.6	35 5.0
	75歳～79歳	730 100.0	371 50.8	304 41.6	55 7.5
	80歳～84歳	696 100.0	371 53.3	274 39.4	51 7.3
	85歳以上	610 100.0	380 62.3	182 29.8	48 7.9
経済的状況	大変苦しい	264 100.0	105 39.8	140 53.0	19 7.2
	やや苦しい	813 100.0	397 48.8	357 43.9	59 7.3
	ふつう	2067 100.0	1076 52.1	854 41.3	137 6.6
	ややゆとりがある	195 100.0	111 56.9	75 38.5	9 4.6
	大変ゆとりがある	32 100.0	18 56.3	12 37.5	2 6.3
要介護認定状況	一般高齢者	2378 100.0	1016 42.7	1182 49.7	180 7.6
	総合事業対象者	220 100.0	150 68.2	59 26.8	11 5.0
	要支援1	266 100.0	182 68.4	72 27.1	12 4.5
	要支援2	386 100.0	254 65.8	110 28.5	22 5.7



## (2) 健康づくり活動や趣味などグループ活動の活動意向

### ①「参加者」としての参加意向

#### <全体的な傾向>

「参加者」としての参加意向は、「参加してもよい」が41.9%で最も割合が高く、次いで「参加したくない」が32.9%、「是非参加したい」が7.6%となっています。

なお、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた「参加意向あり」は、49.5%と半数程度となっています。

#### <年齢階層別の傾向>

「80歳～84歳」以下では「参加してもよい」、「85歳以上」では「参加したくない」の割合が最も高くなっています。

また、「参加意向あり」は「65歳～69歳」で61.0%みられますが、年齢が上がるとともに割合は低下し、「80歳～84歳」以上では半数以下となっています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では「参加してもよい」、「総合事業対象者」、「要支援1」、「要支援2」では「参加したくない」の割合が高くなっています。

また、「参加意向あり」は、「一般高齢者」で56.6%みられますが、「総合事業対象者」、「要支援1」、「要支援2」では20～30%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	「参加者」としての参加意向					参加意向あり	
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答		
全体	3480 100.0	265 7.6	1458 41.9	1145 32.9	142 4.1	470 13.5	1723 49.5	
年齢階層別	64歳以下	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0
	65歳～69歳	520 100.0	30 5.8	287 55.2	171 32.9	11 2.1	21 4.0	317 61.0
	70歳～74歳	706 100.0	59 8.4	357 50.6	211 29.9	30 4.2	49 6.9	416 58.9
	75歳～79歳	730 100.0	58 7.9	350 47.9	206 28.2	26 3.6	90 12.3	408 55.9
	80歳～84歳	696 100.0	62 8.9	246 35.3	235 33.8	35 5.0	118 17.0	308 44.3
	85歳以上	610 100.0	34 5.6	155 25.4	261 42.8	36 5.9	124 20.3	189 31.0
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	185 7.8	1160 48.8	695 29.2	96 4.0	242 10.2	1345 56.6
	総合事業対象者	220 100.0	25 11.4	59 26.8	98 44.5	12 5.5	26 11.8	84 38.2
	要支援1	266 100.0	19 7.1	85 32.0	101 38.0	18 6.8	43 16.2	104 39.1
	要支援2	386 100.0	20 5.2	90 23.3	195 50.5	6 1.6	75 19.4	110 28.5

## ②「企画・運営（お世話役）」としての参加意向

### <全体的な傾向>

「企画・運営（お世話役）」としての参加意向は、「参加したくない」が52.4%で最も割合が高く、次いで「参加してもよい」が26.7%、「既に参加している」が3.2%となっています。

なお、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた「参加意向あり」は、29.2%となっています。

### <年齢階層別の傾向>

各年齢階層とも、「参加したくない」の割合が最も高くなっています。

また、「参加意向あり」は、「65歳～69歳」で36.2%、「70歳～74歳」で36.5%とほぼ同率ですが、年齢が上がるるとともに割合は低下し、「85歳以上」では15.9%となっています。

### <要介護認定状況別の傾向>

各区分とも、「参加したくない」の割合が最も高くなっています。

また、「参加意向あり」は、要介護状態の進行とともに割合が低下し、「要支援2」では13.7%となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	「企画・運営（お世話役）」としての参加意向					参加意向あり	
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答		
全体	3480 100.0	88 2.5	929 26.7	1825 52.4	110 3.2	528 15.2	1017 29.2	
年齢階層別	64歳以下	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0
	65歳～69歳	520 100.0	13 2.5	175 33.7	288 55.4	10 1.9	34 6.5	188 36.2
	70歳～74歳	706 100.0	16 2.3	242 34.3	373 52.8	21 3.0	54 7.6	258 36.5
	75歳～79歳	730 100.0	17 2.3	219 30.0	376 51.5	27 3.7	91 12.5	236 32.3
	80歳～84歳	696 100.0	18 2.6	171 24.6	349 50.1	28 4.0	130 18.7	189 27.2
	85歳以上	610 100.0	15 2.5	82 13.4	341 55.9	21 3.4	151 24.8	97 15.9
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	57 2.4	767 32.3	1193 50.2	86 3.6	275 11.6	824 34.7
	総合事業対象者	220 100.0	7 3.2	38 17.3	134 60.9	6 2.7	35 15.9	45 20.5
	要支援1	266 100.0	9 3.4	44 16.5	164 61.7	9 3.4	40 15.0	53 19.9
	要支援2	386 100.0	7 1.8	46 11.9	240 62.2	4 1.0	89 23.1	53 13.7

## Ⅱ-5. 認知症施策について（3調査合算）

### （1）認知症に関する相談窓口の認知度

#### <全体的な傾向>

認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が19.2%、「いいえ」が66.7%となっており、知らない人が2/3程度となっています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

「はい」の割合は、「一般高齢者」、「総合事業対象者」、「要支援2」では10%台ですが、「要支援1」と「要介護1」以上では20%以上となっています。特に、「要介護3」では32.3%と比較的高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	認知症に関する相談窓口の認知度			
		はい	いいえ	無回答	
全体	4470 100.0	857 19.2	2983 66.7	630 14.1	
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	411 17.3	1677 70.5	290 12.2
	総合事業対象者	220 100.0	42 19.1	149 67.7	29 13.2
	要支援1	266 100.0	59 22.2	170 63.9	37 13.9
	要支援2	386 100.0	68 17.6	270 69.9	48 12.4
	要介護1	270 100.0	79 29.3	159 58.9	32 11.9
	要介護2	304 100.0	70 23.0	198 65.1	36 11.8
	要介護3	158 100.0	51 32.3	96 60.8	11 7.0
	要介護4	99 100.0	21 21.2	66 66.7	12 12.1
	要介護5	57 100.0	14 24.6	37 64.9	6 10.5

## (2) 認知症サポーターの認知度

### <全体的な傾向>

認知症サポーターの認知度は、「知っている」が 9.1%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が 23.2%、「知らない」が 54.8%となっており、知らない人が半数以上となっています。

### <要介護認定状況別の傾向>

「知っている」の割合は、「一般高齢者」、「総合事業対象者」、「要支援2」では 10%以下ですが、「要支援1」と「要介護1」以上では 10%以上となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	認知症サポーターについての認知度				
		知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	知らない	無回答	
全体	4470 100.0	408 9.1	1038 23.2	2450 54.8	574 12.8	
要介護認定状況別	一般高齢者	2378 100.0	202 8.5	529 22.2	1382 58.1	265 11.1
	総合事業対象者	220 100.0	13 5.9	57 25.9	122 55.5	28 12.7
	要支援1	266 100.0	28 10.5	68 25.6	137 51.5	33 12.4
	要支援2	386 100.0	32 8.3	106 27.5	203 52.6	45 11.7
	要介護1	270 100.0	36 13.3	67 24.8	142 52.6	25 9.3
	要介護2	304 100.0	37 12.2	71 23.4	165 54.3	31 10.2
	要介護3	158 100.0	23 14.6	42 26.6	86 54.4	7 4.4
	要介護4	99 100.0	15 15.2	21 21.2	50 50.5	13 13.1
	要介護5	57 100.0	10 17.5	8 14.0	33 57.9	6 10.5

### (3) 「認知症の人と家族のみちしるべ」の認知度

#### <全体的な傾向>

「認知症の人と家族のみちしるべ」の認知度は、「知っている」が 6.7%、「聞いたことはあるが、読んだことはない」が 15.9%、「知らない」が 64.7%となっており、知らない人が 6 割以上となっています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

「知っている」の割合は、「要介護 1」、「要介護 3」、「要介護 5」で 10%台ですが、その他の区分では 10%以下となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	「認知症の人と家族のみちしるべ」の認知度				
		知っている	聞いたことはあるが、 読んだことはない	知らない	無回答	
全体	4470 100.0	298 6.7	711 15.9	2891 64.7	570 12.8	
要 介 護 認 定 状 況 別	一般高齢者	2378 100.0	137 5.8	391 16.4	1593 67.0	257 10.8
	総合事業 対象者	220 100.0	19 8.6	38 17.3	139 63.2	24 10.9
	要支援 1	266 100.0	14 5.3	47 17.7	169 63.5	36 13.5
	要支援 2	386 100.0	16 4.1	65 16.8	261 67.6	44 11.4
	要介護 1	270 100.0	36 13.3	37 13.7	172 63.7	25 9.3
	要介護 2	304 100.0	30 9.9	44 14.5	199 65.5	31 10.2
	要介護 3	158 100.0	18 11.4	26 16.5	107 67.7	7 4.4
	要介護 4	99 100.0	6 6.1	16 16.2	62 62.6	15 15.2
	要介護 5	57 100.0	9 15.8	6 10.5	36 63.2	6 10.5

## Ⅱ-6. 介護保険サービスについて（要支援・要介護認定者）

### （1）介護保険サービスの利用状況

※要支援・要介護度を回答した方（1540人）のみ集計

#### <全体的な傾向>

介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が77.4%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が5.4%、「利用したことはない」が11.9%となっています。

#### <要介護認定状況別の傾向>

各要介護度で「利用している」の割合が高く、「要支援2」以上では70～80%台となっています。

なお、「利用したことはない」は各要介護度でみられ、重度層の「要介護4」で10.1%、「要介護5」で1.8%（57人中1人）みられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護保険サービスの利用状況				
		利用している	以前は利用していたが、現在は利用していない	利用したことはない	無回答	
全体	1540 100.0	1192 77.4	83 5.4	184 11.9	81 5.3	
要介護認定状況別	要支援1	266 100.0	171 64.3	25 9.4	53 19.9	17 6.4
	要支援2	386 100.0	289 74.9	25 6.5	47 12.2	25 6.5
	要介護1	270 100.0	211 78.1	11 4.1	35 13.0	13 4.8
	要介護2	304 100.0	258 84.9	12 3.9	26 8.6	8 2.6
	要介護3	158 100.0	137 86.7	4 2.5	12 7.6	5 3.2
	要介護4	99 100.0	75 75.8	5 5.1	10 10.1	9 9.1
	要介護5	57 100.0	51 89.5	1 1.8	1 1.8	4 7.0

## (2) 介護保険サービスの満足度

※介護保険サービスを「利用している」と回答した方（1192人）のみ集計

### <全体的な傾向>

介護保険サービス利用者の満足度について、「満足している」が46.8%、「どちらかといえば満足している」が42.9%となっています。

なお、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた「比較的満足」の割合は89.7%となっており、利用者の90%程度が比較的満足しているとみられます。

### <要介護認定状況別の傾向>

各要介護度とも、「満足している」または「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっており、「比較的満足」の割合も80～90%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護保険サービスの満足度					無回答	非該当	比較的満足
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない				
全体	1192 100.0	558 46.8	511 42.9	65 5.5	18 1.5	40 3.4	348 29.2	1069 89.7	
要介護認定状況別	要支援1	171 100.0	95 55.6	56 32.7	9 5.3	3 1.8	8 4.7	95 88.3	
	要支援2	289 100.0	145 50.2	111 38.4	17 5.9	3 1.0	13 4.5	97 88.6	
	要介護1	211 100.0	98 46.4	96 45.5	8 3.8	2 0.9	7 3.3	59 91.9	
	要介護2	258 100.0	111 43.0	122 47.3	13 5.0	5 1.9	7 2.7	46 90.3	
	要介護3	137 100.0	49 35.8	76 55.5	9 6.6	2 1.5	1 0.7	21 91.2	
	要介護4	75 100.0	35 46.7	32 42.7	4 5.3	2 2.7	2 2.7	24 89.3	
	要介護5	51 100.0	25 49.0	18 35.3	5 9.8	1 2.0	2 3.9	6 84.3	

### (3) 家族介護者が介護保険サービスを利用して感じること

※家族介護者（990人）のみ集計

#### <全体的な傾向>

家族介護者が介護保険サービスを利用して感じることについて、「介護にかかる心身の負担が大きい」が46.3%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった」が27.0%、「介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した」が24.1%となっています。

#### <世帯類型別の傾向>

「夫婦のみ世帯」では、「介護にかかる経済的負担が大きい」が26.5%と比較的高い割合となっている一方で、「介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した」が28.7%、「介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった」が27.1%となっています。

また、「その他」（夫婦以外の同居人がいる世帯）では、「介護に対する家族や親族の理解が十分でない」が16.3%、「介護にかかる心身の負担が大きい」が51.4%となっている一方で、「介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった」も29.2%みられます。

#### <要介護認定状況別の傾向>

「介護にかかる経済的負担が大きい」は「要介護1」と「要介護2」では10%台ですが、「要介護3」以上では20%台後半を超え、「要介護4」では36.4%となっています。その一方で、「介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した」は「要介護4」以下では要介護度が上がるとともに割合も上昇し、「要介護4」では40.4%となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護をしている上で特に感じていること											
		介護に対する家族や親族の理解が十分でない	介護のため、仕事や家事などが十分にできない	介護にかかる経済的負担が大きい	介護にかかる心身の負担が大きい	介護の方法がわからない	介護保険サービスを利用して、自由な時間が増えた	介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した	介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった	その他	特にない	無回答	
全体	990 100.0	125 12.6	169 17.1	193 19.5	458 46.3	43 4.3	174 17.6	239 24.1	267 27.0	16 1.6	79 8.0	164 16.6	
世帯類型別	単身世帯	110 100.0	10 9.1	20 18.2	20 18.2	44 40.0	7 6.4	9 8.2	17 15.5	27 24.5	2 1.8	15 13.6	26 23.6
	夫婦のみ世帯	181 100.0	14 7.7	24 13.3	48 26.5	87 48.1	12 6.6	37 20.4	52 28.7	49 27.1	3 1.7	9 5.0	25 13.8
	その他	566 100.0	92 16.3	112 19.8	104 18.4	291 51.4	23 4.1	111 19.6	145 25.6	165 29.2	11 1.9	50 8.8	50 8.8
	要介護認定状況別	要支援1	270 100.0	43 15.9	50 18.5	34 12.6	125 46.3	16 5.9	43 15.9	40 14.8	75 27.8	8 3.0	25 9.3
	要支援2	304 100.0	40 13.2	47 15.5	55 18.1	143 47.0	13 4.3	61 20.1	78 25.7	90 29.6	4 1.3	35 11.5	35 11.5
	要介護1	158 100.0	23 14.6	40 25.3	45 28.5	92 58.2	5 3.2	27 17.1	50 31.6	44 27.8	3 1.9	7 4.4	13 8.2
	要介護2	99 100.0	7 7.1	18 18.2	36 36.4	55 55.6	4 4.0	21 21.2	40 40.4	28 28.3	1 1.0	4 4.0	11 11.1
	要介護3	57 100.0	6 10.5	11 19.3	17 29.8	27 47.4	0 0.0	16 28.1	21 36.8	21 36.8	0 0.0	3 5.3	4 7.0